

ドローンを用いた「彩のかがやき」追肥診断

近年、本県の水稲栽培では、一人当たりの経営面積が増加しており、一枚のほ場にかける時間が減少しています。このため、ほ場の一枚一枚に入って歩きながら行う追肥診断は、かなりの負担となっています。

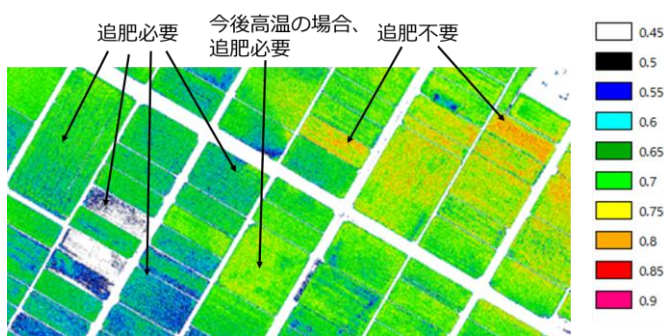
この研究では、ドローンとマルチスペクトルカメラという特殊なカメラを用いてほ場を空撮した画像から追肥診断を行う技術を開発しました。早植栽培の「彩のかがやき」では、移植後45～50日頃に撮影した画像から、NDVI という生育の指標を算出し、追肥の要否を判断します。これらの手法をまとめた「ドローンを用いた彩のかがやき追肥診断マニュアル」を作成しました。



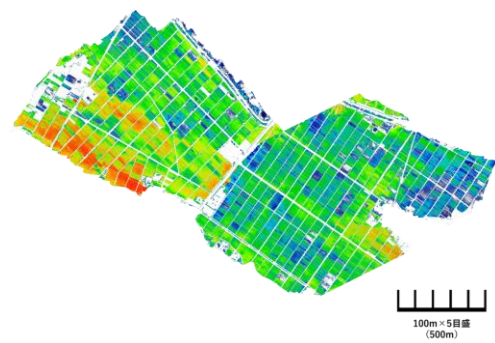
従来の葉色による生育診断



空撮に用いるドローンとカメラ



NDVI 値による追肥の判断例



鴻巣市のほ場約 200ha の診断マップ

ドローンを用いた彩のかがやき追肥診断マニュアルは、下記からダウンロードできます。
アドレス : <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/suidenkoudoriyou.html>